

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公開番号】特開 2005-156566 (P2005-156566A)  
 【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-023  
 【出願番号】特願 2004-342625 (P2004-342625)  
 【国際特許分類】

**G 0 1 T 1/20 (2006.01)**

**H 0 4 N 5/321 (2006.01)**

**H 0 1 L 27/14 (2006.01)**

【F I】

G 0 1 T 1/20 G

G 0 1 T 1/20 L

H 0 4 N 5/321

H 0 1 L 27/14 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 8】

このセル間の漏話変動の原因となるものの 1 つは、個々の光ダイオード素子間での光生成キャリアの拡散によって生じる電氣的漏話である。光生成キャリアの側方拡散により、光ダイオード収集ジャンクションの光能動領域が拡大すると考えられる。この側方拡散により、幾らかの光キャリアがセル収集位置からはずれて拡散した時に起こる側方漏話が生じることになり、その場合、拡散した光キャリアが発生し、隣接するセルによって収集される。ダイオードが厚くなることにより収集前の拡散の長さが増加するので、背面照射型ダイオードの場合にはこの影響が一層顕著になる。背面照射型ダイオードは、光がダイオード・ジャンクションとは反対側でダイオード・アレイに入射するダイオード・アレイである。

【特許文献 1】米国特許第 4 9 8 2 0 9 6 号